

# 小城市立歴史資料館 中林梧竹記念館だより

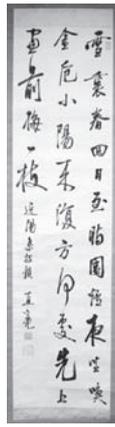
◆開館時間 9時～17時 ◆休館日 毎週月曜日・祝日  
 【問合せ・申込み】小城市立歴史資料館 文化課（桜城館2階）  
 担当 熊手・田久保 ☎71・1132

平成24年度展示会のお知らせ

## ◆新・収蔵品展◆

◆期間 5月12日(土)～6月24日(日)

◆場所 企画展示室(桜城館2階)  
 平成23年度に新たに収集した資料を紹介します。



▶十代藩主鍋島直亮書

## 中林梧竹記念館

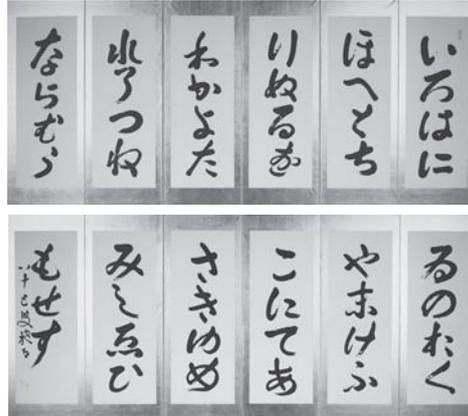
平成24年度第1回常設展

◆期間 7月15日(日)

◆場所 常設展示室(桜城館2階)  
 ◆大作と屏風

当館収蔵の梧竹作品のうち、屏風や大作の作品、遺品など約30点を展示しています。

## ◆展示資料◆ いろは帖屏風



梧竹85歳筆。ひらがな47文字を一回ずつ使って詠まれた歌。広報「さくら」の題字はこの作品から用いました。

## 文化財指定のお知らせ

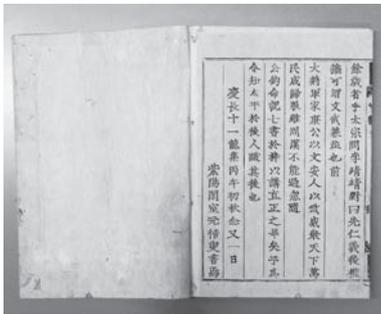
伏見版七書・染付蓬菜亀文大皿

小城市教育委員会では、3月22日付で、市重要文化財2件を指定しました。

## ◆伏見版七書 七冊(二十五卷)◆

小城出身の僧で、徳川家康の側近であった閑室元估に家康から与えられた日本最初の木活字(国重要文化財)によって慶長11年(1606)に印刷された古活字本です。

日本における出版文化史を知る上で貴重であり、閑室元估と徳川家康との関係や業績をうかがう上でも重要です。



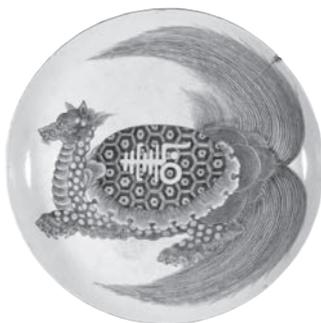
本年は、閑室元估が没して400年目に当たる年です。閑室元估に関する展示会も計画しています。

## ◆染付蓬菜亀文大皿◆

小城藩の御用窯と言われる松香谷窯で焼成されたものです。天和年間(1683年頃)から明和年間(1764～72年)頃まで続いたと考えられています。

銘文により、元文3年(1738)に松香谷窯で焼かれたことが分かっています。

同窯作として確実なものは本資料だけであり、唯一現存する伝世品として松香谷の実態を知るためにも貴重な資料です。



これら2点の資料は、歴史資料館常設展示室で展示しています。